

信州環境パートナーシップだより

# 環境たまき

vol.  
114

信州エコポスター・コンクール 2024

小学生低学年の部 優秀賞

松本市立開明小学校 1年

宮岡 紗冬さん



## ★信州環境フェア 2025

「親子で体験！地球温暖化を食いとめよう！」

7月5日（土）に TOiGO 広場、長野市生涯学習センターで開催されました

## ★まなびレポート

EV を活用した次世代向け環境教育授業を長野市内の中学校で実施しました

★令和7年度循環型社会形成推進功労者知事表彰の表彰式を実施しました



## 環境キーワード解説

## 『カーボンフットプリント』

私たちの生活の中で排出される二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の量を「足あと」にたとえて表す考え方です。電気やガソリンを使うときはもちろん、洋服や家電をつくるとき、食品を遠くから運んでくるときなど、身の回りのあらゆる活動で CO<sub>2</sub> は排出されています。



つまり、私たち一人ひとりの買い物や食事、移動の選び方が地球環境に影響を与えているのです。

カーボンフットプリントを知ることで、自分の生活からどれくらいの CO<sub>2</sub> が出ているか「見える化」できます。たとえば、地元の食材を選んだり、マイボトルを持ち歩いたり、省エネ家電を使うことも、足あとを小さくする工夫です。

カーボンフットプリントは、未来の世代にきれいな地球を引き継ぐために、私たちの暮らしを見直すヒントになる言葉です。

# 信州環境フェア2025 「親子で体験!地球温暖化を食いとめよう!」が開催されました

第24回目となる「信州環境フェア」が7月5日（土）に長野市生涯学習センター、TOiGO広場及び近隣のサテライト会場で開催されました。

## トークイベント

空想科学読本の著者として有名な柳田理科雄先生によるサイエンスショーや、JAXA主任研究員である河村耕平先生、昆虫博士である田下昌志先生による講演が行われました。

全トークイベントを通じて、約300名の方にご来場いただき、大人から子どもまで楽しく環境のこと学ぶことができました。

今回のイベントをきっかけに、環境問題に関心をもち、是非ご家族で地球環境に配慮した生活を取り入れてもらえばと思います。



講演会場には多数の来場者!

## 展示 / ワークショップ

各会場では、企業によるワークショップや、入場無料の展示・ワークショップが開催されました。イベント全体を通して、約1,200名の方にご来場いただきました。

このイベントを通じて、来場者一人ひとりが環境問題を身近なこととして考えてもらい、日常生活の中で環境に優しい行動を実践してもらえたなら嬉しいです。



信州エコポスター・コンクール2024



長野県×沖縄県ブース



アルクマによるステージイベント



EV車両の展示

# まなびレポート



## EVを活用した次世代向け 環境教育授業を行いました

未来を担う子どもたちに、現在地球が直面している温暖化をはじめとした気候変動の現状を知つてもらい、環境に配慮する行動の重要性を学んでもらうことを目的として、「EVを活用した次世代向け環境教育授業」を7月1日（火）に長野市立安茂里小学校で実施しました。

本授業は、長野県と包括連携協定を締結している日産自動車株式会社の環境教育プログラム「わくわくエコスクール」を活用しました。

### 授業プログラム

#### ● EV試乗体験

走行時に排気ガスを排出せず、電気で走るEV（電気自動車）に試乗して、グラウンドを周回しました。ある児童は「とても静かで周りの音が良く聞こえた。とても快適でした」とEVの乗り心地に関心していました。



阿部知事もプログラムに参加

#### ● プロパイロットパーキング体験

プロパイロットパーキングは、ボタン一つで、車が自動で駐車操作を行ってくれるシステムです。

先進技術を体験してもらうことで、EVに対する関心を深めていただきました。



#### ● 講義＆モデルカー実験

前半は、地球温暖化の現状を学び、EVがどのようにして役に立つか日産のスタッフから教えてもらいました。

後半は、ペットボトルのキャップを再利用して作られたモデルカーを手回しで発電した電力で走行させることで、楽しくEVの仕組みを学びました。



プログラムを通して、地球温暖化の現状や脱炭素化の重要性、EVが環境にどう役立つかを真剣に、そして楽しそうに学んでくれました。

この授業をきっかけとして、子どもたちには少しずつ「環境に優しい行動」を実践してくれたら嬉しいです。

# 令和7年度循環型社会形成推進功労者知事表彰の 表彰式を実施しました

循環型社会の形成に功績のあった方々への表彰式が執り行われ、小林真人長野県環境部長より賞状が授与されました。



(前列左より)岩渕篤様、高野英明様、株式会社綿内瓦工業様、株式会社岡谷組様  
小林環境部長(後列中央)、新井資源循環推進課長(後列右)

## 【循環型社会形成推進功労者知事表彰】

循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正処理及び再利用、資源化等の促進、啓発・普及及び指導・教育等に多大な貢献をされており、他の模範となる方々を功労者として表彰しました。

令和7年度は、事業者の部門で2者、個人・グループ・学校の部門で個人2名、また「その他」の部門で2名の計6者が表彰を受けられました。

受賞者一覧（順不同、敬称略）※表彰式は欠席

部門	受賞者名	功績概要
事業者	株式会社 岡谷組 (岡谷市)	リサイクルの促進や産業廃棄物の削減、循環型社会の形成に積極的に取り組んでいる。長年、社員による地元のごみ拾いボランティア活動を行い、環境美化にも尽力している。
	株式会社 綿内瓦工業 (長野市)	廃棄瓦の再資源化によるリサイクルの促進や産業廃棄物の削減、循環型社会の形成に積極的に取り組んでいる。造園業者や個人のガーデニング用途での需要があり、環境への負荷低減に貢献している。
個人・ グループ・ 学校	千田 実※ (岡谷市)	多年にわたり地元区の自治会長等として住民の模範となり、ごみ分別指導や環境美化・緑化の推進に尽力した。諏訪湖周辺の清掃活動など地元区だけでなく、市全体の環境美化に貢献した。
	吉川 和男※ (松本市)	多年にわたり町会環境衛生部長として住民の模範となり、ごみステーションの管理やごみ分別指導、リサイクルの推進等ごみ減量及び環境美化・緑化の推進に尽力している。
その他	高野 英明 (長野市)	市職員として多年にわたり施設等の維持管理等に携わり、一般廃棄物の適正処理に従事した。現在もこれまでの知識や経験を活かし、後進の指導、育成など循環型社会形成のために貢献している。
	岩渕 篤 (長野市)	市職員として多年にわたり施設等の維持管理等に携わり、一般廃棄物の適正処理に従事した。現在もこれまでの知識や経験を活かし、後進の指導、育成など循環型社会形成のために貢献している。

【問合せ先】長野県 環境部 資源循環推進課

TEL : 026-235-7181 E-mail : junkan@pref.nagano.lg.jp

発行日／令和7年10月6日

発行／信州豊かな環境づくり県民会議

事務局／長野県環境部 環境政策課

TEL / 026-235-7169 (直通)

URL / [https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kenminkaigi\\_tamaki.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kenminkaigi_tamaki.html)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



石油系溶剤を含まない植物油を使用しています。